



かんしゃ



「かんしゃ」は…

かんざししゃかいふくしきょうぎかいの「かんしゃ」の文字を抜き取りました。
住民への感謝の気持ち、住民同士の感謝し合える町づくりをイメージしています。

元気かんざき市民交流祭 (11月26日 神崎市役所)

神崎市社会福祉協議会ブース



社協事業紹介

共同募金運動

募金の協力者に対してお菓子のつかみとりをしてもらい、特に子供たちから大好評でした!お菓子は「つかさ神崎店」様より提供いただきました。募金額は4,127円でした。

チャリティーバザー

市民の方々より提供品を頂き、バザーを実施し、大盛況となりました。収益金46,000円は、神崎市の福祉事業に活用させていただきます。

皆様のご協力ありがとうございました!

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

新年の挨拶



神崎市社会福祉協議会

会長 實松 清典

年頭にあたり、謹んで新年のあいさつを申し上げます。
旧年中は、神崎市社会福祉協議会の活動に対しまして、
多くの方々より温かいご理解とご支援を賜り、厚くお礼
申し上げます。

昨年は、市の受託を受けた介護予防事業（おたっしや
いきいきクラブ）、シルバー人材センター事業、介護保険
事業（介護デイサービス）、指定管理事業（せふり保育園・
そよかせ荘・憩の家・千代田町福祉センター運営）、及
び各種福祉団体と連携した地域福祉活動事業を関係者の
方々のご指導・ご協力を得て実施することができました。

また、社協会費や香典返し寄附、共同募金をはじめ、
生活に困窮している方を支援することを目的とした緊急
時食料品等給付事業や就学支援として学用品譲渡、福祉
用具貸与のための介護ベットの、車イス、チャリテイバザー
用の物品等、市民の皆様から多くの寄贈をいただき、深
く感謝いたします。

近年、少子高齢化が進み、人口減少社会が本格化する

など社会環境は大きく変化し、子育てや介護をめぐる問
題、社会的孤立、生活困窮、児童高齢者の虐待問題、子
どもの貧困問題など社会活動や生活課題は、複雑化そし
て深刻化しております。

本会は、総合相談事業を立ち上げコロナ禍の中、多く
の相談を受け、行政・自立支援センターと連携・協同し、
複合的な課題解決に取り組むとともに、判断能力の不十
分さによって、社会から置き去りにされることなく、そ
の意志や権利が守られる権利擁護支援（あんしんサポー
ト）事業を展開し、事業対象者は大きく増加している
ところです。

また、国は地域に暮らす人が共に支え合い課題を解決
していく「地域共生社会」の実現に向けた生活支援体制
整備事業を実施しており、本会は、「連携・協働の場」と
して、神崎市における第一層協議体の主体的役割を担っ
ており、事業の拡大・充実に努めるとともに、神崎市福
祉団体の集まりである「神崎市ボランティア連絡協議会」
を中心とした各種福祉事業を推進していききたいと考えて
おりますので、市民の皆様、関係団体の皆様には、益々
のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、本年が市民の皆様にとりまして、希望に満ち
た心穏やかな一年となりますよう、役職員一同心より祈
念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

令和五年一月一日

神埼清明高校 学校募金活動

10月13・14日に神埼清明高校で赤い羽根共同募金の学校募金活動が行われました。

神崎市社会福祉協議会は、10月13日に募金活動に参加させていただきました。

当日は、昼休みたくさんの生徒が足を運ぶパンの売店近くで、神埼清明高校福祉研究部の生徒と神崎市社会福祉協議会のマスコットキャラクターのかんちゃんと一緒に学校募金活動を行い、たくさんの生徒や先生方から募金を頂きました。

13日・14日を通して募金を頂きました。ご協力ありがとうございました。



神埼清明高校2年 福祉研究部 部長 重松 美友梨さんにインタビュー

重松美友梨さんが部長を務めている福祉研究部では、おとしよりカレンダー作成や車イスの使い方を学ぶなど、福祉に関する活動を主にされています。

今回の学校募金活動も福祉研究部の活動の一環としてしていただきました。

学校募金活動を行っての感想として多くの生徒が早く募金をしてくれて優しい生徒が多かったのが印象的だった。今回募金活動を行った赤い羽根共同募金の使い道として、子ども達の為にお金を使って欲しいと話されました。

今後の重松さんの目標として、福祉研究部の活動を通して人助けや人の役に立てるような仕事に将来就きたいと話されました。



▲原先生

▲重松さん



福祉研究部が作成されたおとしよりカレンダー

教育支援資金貸付制度のお知らせ

令和5年度、高校や短大・大学等への進学予定者で、低所得世帯に属している方が、就学するのに必要な経費や入学準備金を、その世帯で捻出できない場合や、他から融資が受けられない場合等に、佐賀県社会福祉協議会の貸付制度の相談を行うことができます。

資金種類 ①教育支援費 (ア) 高校 月額35,000円以内 (イ) 高等専門学校 月額60,000円以内
(ウ) 短期大学・専修学校専門課程 月額60,000円以内
(エ) 大学 月額65,000円以内

②就学支度費 (入学に際し必要な支度経費) 500,000円以内

事前申し込み期限 令和5年1月31日まで

問い合わせ・申し込み先 神崎市社会福祉協議会神埼支所 ☎51-1822

神崎小学校 高齢者・障がい者疑似体験

9月28日・29日・30日に神崎小学校で高齢者・障がい者疑似体験を行いました。子ども達には、4つの体験をしていただきました。

体験終了後は、聴覚に障がいのある方に講演をしていただき、生活を送る中で大変なこと、障がいを抱えていても趣味や目標をもって生活していることとお話ししていただき、講演後も子どもたちから、たくさんの質問を受けました。

体験を通しての感想を子ども達に書いてもらいました。多くの子ども達が【体験をして良かった】と答えており、【高齢者・障がい者の気持ちが分かり、これから人に優しくし、安心して暮らせる街にしたい】など感想を頂きました。



団体紹介：手話サークルかんざき

会員募集中！

TEL 51-1822（神崎市社会福祉協議会）

手話サークル神崎です。会員は健聴者14名、聴覚障がい者2名の16名です。毎週木曜日10時～12時、神崎市中央公民館で活動しています。

手話の技術はまだですが、皆さん熱心で聴覚障がいのある人もない人も一緒に交流したいという気持ちで手話の勉強をしています。勉強だけでなく、外に出て行事も楽しんでいますよ。

ここ一年の主な行事、活動を紹介します。

【クリスマス&忘年会】12月

仁比山の「もみじの湯」で行いました。「赤鼻のトナカイ」の手話歌やゲーム、聴覚障がい者2人のコント（これが毎年一番盛り上がります）ビンゴゲーム、寿司弁当も楽しみの一つです。

【お花見&グランドゴルフ交流会】3月

日の隈公園での開催を計画していましたが、当日は雨になったため千代田町福祉センターで交流会を行いました。他の手話サークルの方の参加もありゲームで盛り上がりました。

【フライングディスク体験】6月

脊振高取山広場で行いました。フライングディスクは全国障がい者スポーツ大会の競技種目になっています。佐賀県障がいスポーツ協会とフライング協会より2名指導に来て頂き、青空のもと思い切り体を動かし、汗を流しました。そのあと場内のレストランで会食しました。

【ソバ打ち体験】10月

佐賀市の西田観光農園でソバ打ち体験をしました。二人ずつ組んで農園の方に教えてもらいながら混ぜたり捏ねたり、粉が段々ソバの形になっていきます。もちろん自分たちで作ったソバの味は最高でした。

その他、「24時間テレビ」「赤い羽根共同募金運動」への参加、ドリームパークでの手話講座、小学校では「高齢者・障がい者疑似体験授業」の中で聴覚障がい者の講話や手話を学ぶ授業に参加しました。小学生は好奇心旺盛であつという間の2時間でした。

また佐賀県は2024年「SAGA2024国スポ、全障スポ」が開催されます。そのための準備として情報支援者養成研修会が県内各地で開かれています。神崎でも本部より講師に来て頂き、障がい者スポーツと聴覚障がい者情報支援のための研修会が計10回開催されました。今後も引き続き学習会を重ねていく予定です。



共に支え合う地域福祉コーナー

対談



子ども食堂・寺子屋かんざき
代表 山本まりこ様

子ども食堂に野菜の寄附を
行っている 田代高規様

○対談内容

田代様：子ども食堂はいつ始めたのですか？

山本様：私が60歳ぐらいから始めて、現在67歳になります。

田代様：子どもたちの料金はいくらぐらいですか？

山本様：子どもたちは300円でやっています。ご飯はいくらお代わりしてもいいようにしています。

田代様：子ども食堂は、どこで行っていますか？

山本様：脊振町の高取山公園にあるレストラン「そよ風」で、毎月第2土曜日に行っています。神埼町でも毎月第4木曜日に田道ヶ里のコミュニティハウス・ピュアライフで行っています。子ども食堂で食事を終えた子ども達が、帰り際に「お腹一杯になっておいしかった」と笑顔で言ってくれるのがとっても嬉しいです。

田代様：そうですね、私も子ども達が、お腹一杯食べられて、地域で元気に暮らしてほしいと願って野菜を寄附しています。先日、子ども達から寄附のお礼の手紙を書いてもらったのがとっても嬉しかったです。

○子ども食堂とは

子ども食堂は、子どもが一人で行けて、無料または低額で食事が出る場所のことを言います。

子ども食堂の数は、令和3年度は全国約6000ヶ所あり、令和2年度から約20%増加しています。

現在、子どもの7人に1人が貧困状態です。

また、一人親世帯では2人に1人が貧困であるという結果が出てます。子ども食堂では、貧困や孤食の対策だけでなく地域の人と繋がりを作れるメリットがあります。

今回は、神埼市で活動をされている子ども食堂の寺子屋かんざきさんとそれを支援している地域の方の対談について紹介をさせていただきます。



○まとめ

今回、子ども食堂での対談をお聞きし、お二人とも地域の子供達が元気に生活できる環境や居場所作りの為に活動されていました。

この他、神埼市内では子ども食堂として浄光寺さん（神埼町）、みんなの食堂として夢根っこさん（千代田町）が活動されています。

神埼市社会福祉協議会では、今後も地域の為に活動されている団体などを広報誌で紹介していき、このような素晴らしい活動を神埼市の多くの方に知って頂きたいと考えています。

寺子屋かんざき・代表山本様問合せ先

☎080-3913-3969

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金

10月1日から12月31日までの期間、市民の皆様へ赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金の御協力をお願いし、多くのご寄附をいただきました。なお、募金額及び募金者の報告は次号掲載させていただきます。ご協力ありがとうございました。



◀学校募金（西郷小学校）

市内の学校において募金の協力をいただきました！

▲街頭募金活動（マルキョウ神埼店・トライアル千代田店・アニー千代田店・ユートク千代田店）

市内の学校において募金の協力をいただきました！

せふり 介護デイ

脊振町広滝532-1 ☎59-2227

送迎、給食、入浴機能訓練等のサービスを行い、1日をつろいでいただきます。

利用日：月曜日～金曜日（10:00～15:30）

対象者：要支援・要介護認定者

四季折々を楽しんでいただいております。
職員一同、ご利用をお待ちしております！

りんご狩り

今年も三瀬のマルヤスりんご園にりんご狩りに行きました。試食のりんごが美味しかったです。



もみじ見学

眼鏡橋の紅葉をバックにパチリ！
ドウダンつつじが真っ赤で綺麗でした。



かかし見学

倉谷のかかし村が今年も出現しました。今年のテーマは「医療従事者に感謝」です。

コロナの収束を願っています。



無料法律相談窓口



- 相談内容は秘密厳守
- 相談無料

相続・金銭貸借・土地・財産・交通事故等の法律上の相談を弁護士が応じます。
お気軽にご相談ください。

実施日	場所
令和5年 1月19日（木）	神埼町
令和5年 3月16日（木）	千代田町

実施時間 13:30～16:30

相談時間 おひとり30分以内

※事前に予約が必要です

神 埼 ☎51-1822（神埼市中央交流センター3F）

千代田 ☎44-3121（千代田町福祉センター）

脊 振 ☎59-2227（脊振町高齢者生活福祉センター）



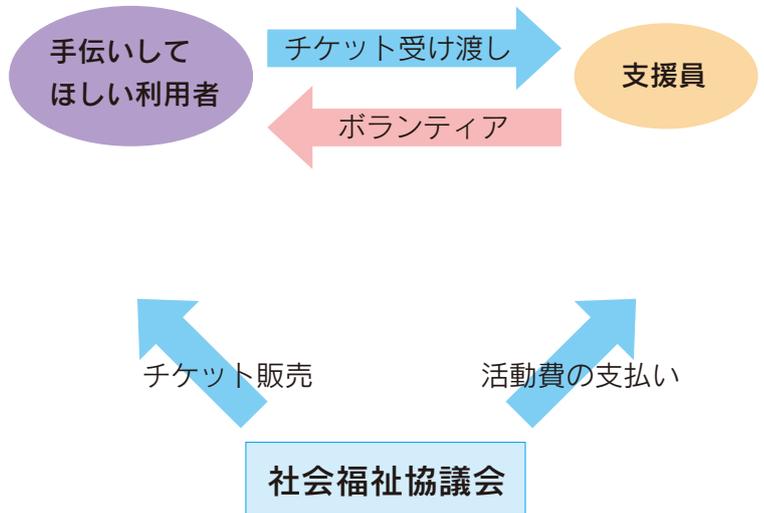
ちょこっとボランティア支援員募集！

ちょこっとボランティアでは、市内に居住する高齢者等（高齢者のみの世帯、障がい者のいる世帯）が抱える日常の様々な困りごとを地域の人々が「ちょこっとボランティア」を介して解決することにより、住民相互の助け合いを推進することを目的とします。

活動の一例	チケット枚数 1枚=100円
・ゴミ出し	1枚～
・重たい荷物の移動	1枚～
・電球の交換	1枚～
・洗濯	1枚～
・掃除	1枚～
・生活用品の買い物代行	3枚～

※支援は1回あたり30分以内
※利用者を車に同乗することはできません。

支援を必要とする利用者へ1枚100円のチケット（5枚綴り）を購入していただき、支援員は支援活動に応じたチケット枚数を受け取ります。



チケットは、社会福祉協議会に提出していただくと活動費をお渡しします。
※10枚で1,000円

お問い合わせ先 神崎市社会福祉協議会神埼支所 ☎51-1822

食料寄附

神崎市社会福祉協議会では、生活困窮者支援として皆様方よりご寄附いただいた食料品を、生活にお困りの方へお渡ししております。

寄附者の皆様方のおかげで、食料等を受け取られた方々からは感謝のお言葉をいただいております。ご協力ありがとうございます。



アグリベース仁比山様より
米の寄附



佐賀県農業協同組合神埼支所様より
米・麺類・飲料の寄附



第一生命神埼営業オフィス様より
米・麺・レトルト食品・調味料等
の寄附

その他、市民の方々から寄附を頂きました。ご協力ありがとうございました。

